

経営比較分析表（令和6年度決算）

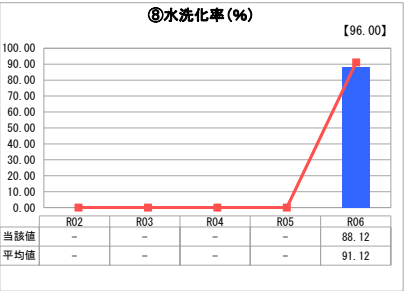
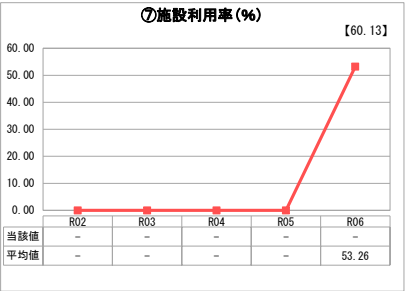
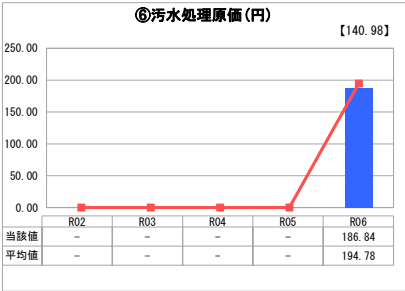
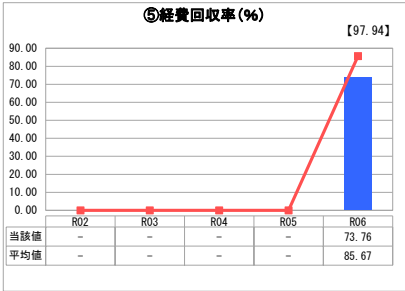
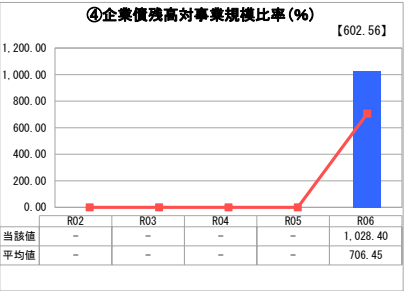
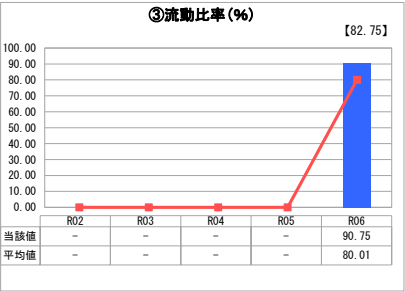
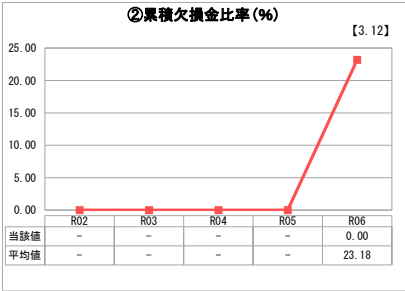
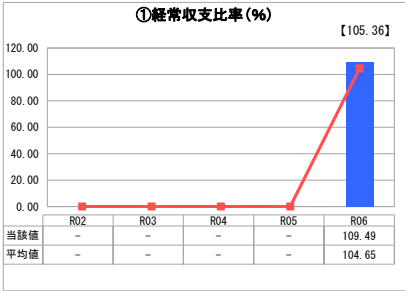
群馬県 みなかみ町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	64.76	37.88	83.77	2,690

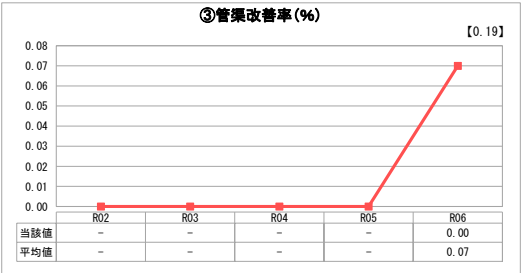
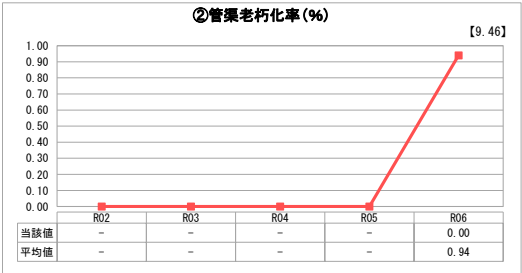
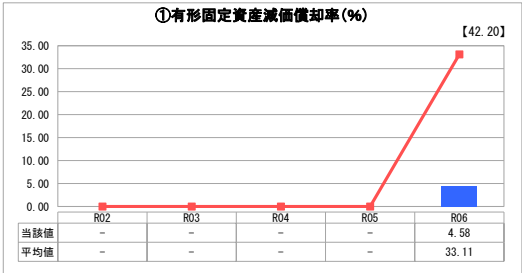
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
16,954	781.08	21.71
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
6,364	3.57	1,782.63

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、概ね100%だが、一般会計からの繰入金に依存した状態である。  
②累積欠損金は、発生していないため今後も発生しないよう健全経営に努めたい。  
③流動比率は、他団体と比較し同様な数値だが、今後も安定した事業経営を目指し、企業債償還額を抑えたり、使用料収入向上のため、使用料改定の可否について検討を進めていきたい。  
④企業債残高対事業規模比率は、大きな水準となっているが、残高は年々減少してきている。今後も施設・設備の更新や改修を計画的に行い、企業債の有効活用を図っていきたい。  
⑤経費回収率は、100%未満かつ他団体平均よりも低い割合となっており、経費の削減を徹底していく必要がある。  
⑥汚水処理原価は他団体と同水準を保っているが、引き下げるために維持管理費削減や水洗化率向上を目指し、取り組みを進めていきたい。  
⑦施設利用率は、本町の公共下水道事業は流域下水道へ接続し処理をしているため、「一」となっている。  
⑧水洗化率は、類似団体と同水準であり、引き続き貸付基金制度や宅内配管費補助制度の活用について周知するなど、更なる比率上昇のための取り組みを強化していきたい。

2. 老朽化の状況について

当事業は、昭和54年から供用を開始し、現時点では管渠の法定耐用年数を経過していない。そのため、有形固定資産減価償却率のパーセンテージは低く、管渠老朽化率は0となっているが、管渠の老朽化は確実に進行しており、本町ではTVカメラ調査等を行い、異常が見つかった箇所について、更生等の工事を行っていく方針である。

全体総括

人口減少による過疎化の進行などにより使用料収入の維持が厳しい状況となっているが、利根川源流域の水質保全や生活環境の維持向上のため本町の下水道事業は重要な役割を担っている。  
事業の健全な経営には、使用料収入の確保、未接続の解消、老朽化施設の改修・更新等課題が多いため、経営戦略やストックマネジメント計画を踏まえ、計画的な事業運営を行ってきたい。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。